



製造装置オブザーバビリティに向けた センサインターフェイスと情報処理

(株)ロジック・リサーチ

概要・成果

半導体製造装置をはじめとした装置機器群は、様々なモジュールより構成され、それらが生成するデータもまた多種多様でありかつデータ活用の視点も多岐にわたります。装置やセンサ群が取得したデータを基にして、システムの状態を把握・推測する能力へと発展させることは、製造物の品質や制御において重要です。ここでは、ミニマルファブ装置群に対しカメラやインターフェイスを適用、ログデータによる管理を具現化しました。

製品・サービス紹介

装置ステイタスマネージャー

装置ログをサーバーに収集し一元化するミニマルファブ用ソフトウェア。リアルタイムOSの情報を読み取るので、遅延の少ない確実な連携情報収集を実現。

プロセス映像記録

テストプロセス段階から確実に現象を記録、レシピ改善へつなげるソフトウェア。クラウドサービスと連携可能。

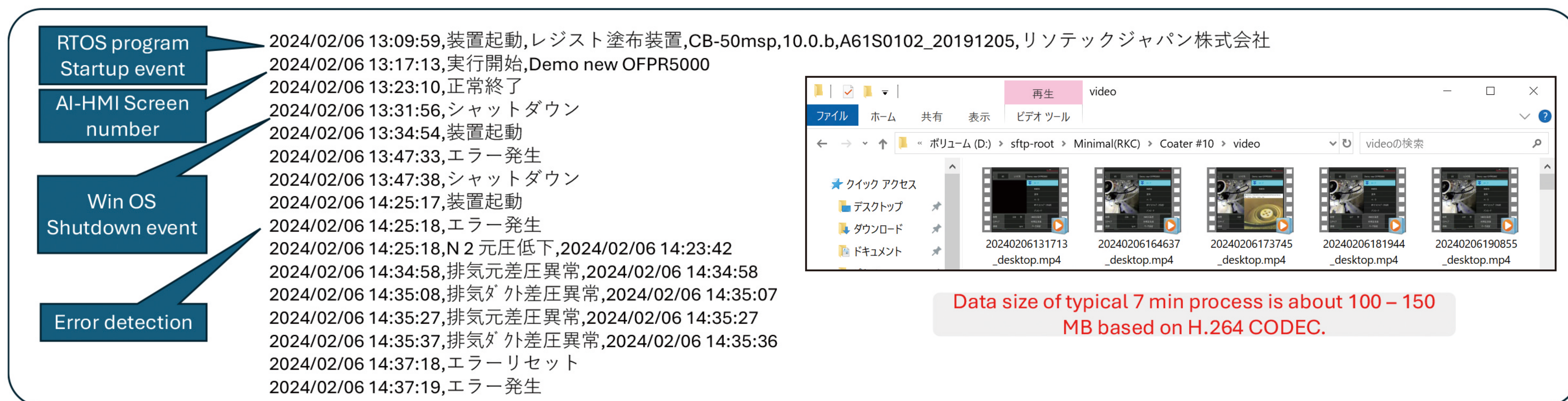


図:装置ログおよび取得プロセス映像サンプル

希望するマッチング先

●ミニマルファブの保守サービス

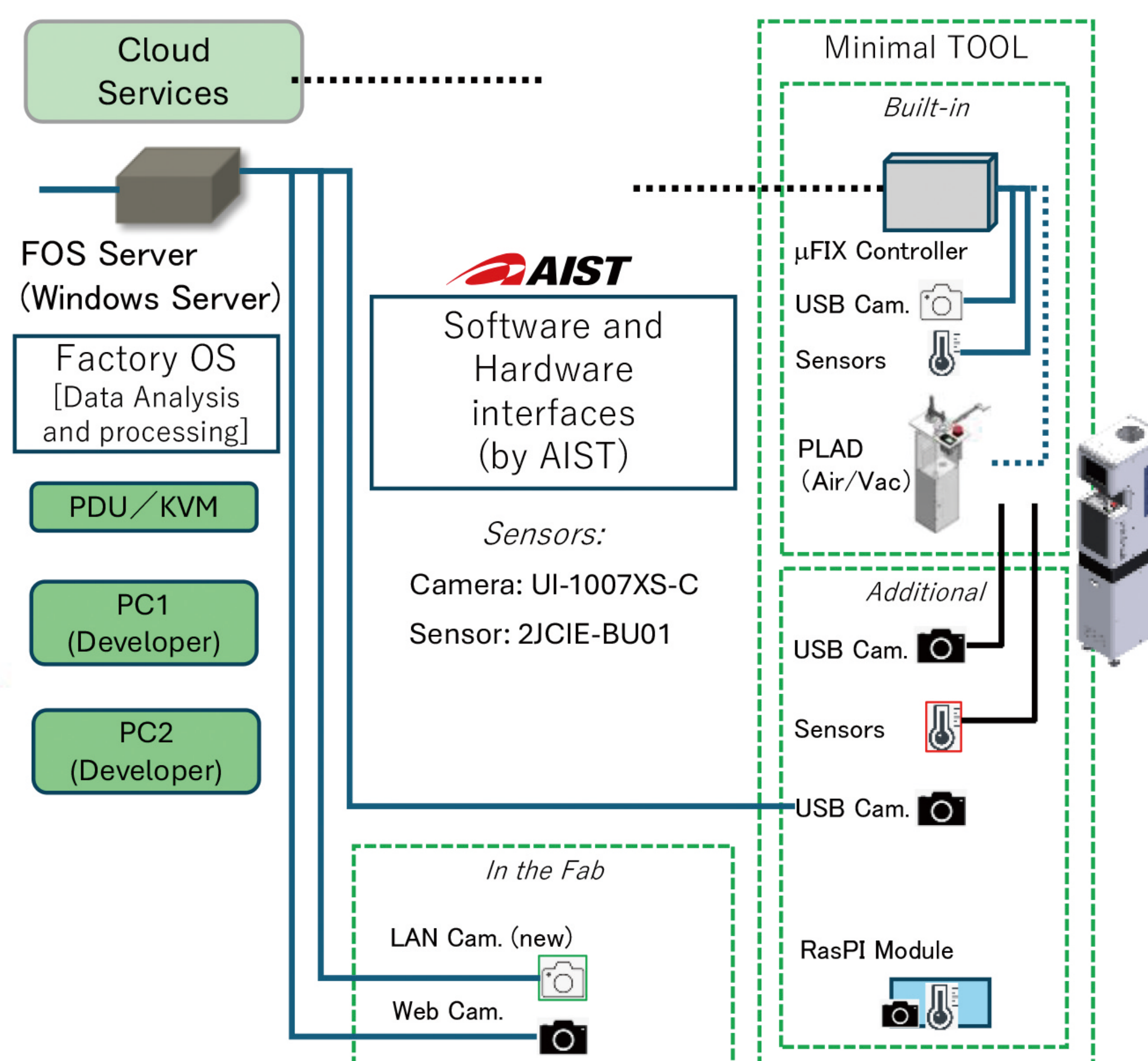
モニタリングシステムを搭載したミニマルファブ装置を活用する事でミニマルファブ装置の保守が可能になります。

●ミニマルファブを活用した試作サービス

モニタリングシステムを搭載したミニマルファブ装置を活用して半導体デバイスの1個づくりが可能になります。

●半導体製造工場向け画像解析サービス

モニタリングシステムで取得した映像データを解析する事で半導体製造装置のメンテナンス自動化が可能になります。



プロジェクト実施期間

2021年度～2023年度

NEDOプロジェクト名

5G等の活用による製造業のダイナミック・ケイパビリティ強化に向けた研究開発事業／
5G無線通信技術を使った半導体製造工場の生産と品質管理手法の開発

お問い合わせ先

株式会社ロジック・リサーチ
HP : <https://www.logic-research.co.jp> Email : tsuchiya@logic-research.co.jp

